



平成 28 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 東 海 カ ー ボ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 坂 一
(コード番号 5301 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 経 理 部 長 松 原 和 彦
(TEL. 03-3746-5100)

特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 30 日公表の「ファインカーボン事業の構造改革及び希望退職者の募集による経営合理化に関するお知らせ」及び平成 28 年 6 月 23 日公表の「東海炭素（天津）有限公司の事業体質強化施策に関するお知らせ」の実施に伴い、下記の通り特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 9 日に公表しました平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の連結業績予想を下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

(1) ファインカーボン事業

構造改革の一環として、等方性黒鉛の生産能力を約 45%削減すると同時に、不採算品目からの生産撤退も併せ、製品ラインアップの絞り込みを行うことを前提に今後の見直しを見直した結果、成形及び焼成工程における旧式設備の廃棄等も含めて、42 億 28 百万円の減損損失を計上する見込みとなりました。

(2) 東海炭素（天津）有限公司

事業体質強化を目的として、生産能力を縮小し付加価値の高い特殊品主体の生産体制へ移行する方針に基づき今後の見直しを見直した結果、カーボンブラック生産設備の 1 系列閉鎖を含めて、22 億 59 百万円の減損損失を計上する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	47,000	600	1,000	500	2.35
今 回 修 正 予 想 (B)	44,872	△80	△238	△5,903	—
増 減 額 (B-A)	△2,127	△680	△1,238	△6,403	—
増 減 率 (%)	△4.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	53,984	1,569	1,917	497	2.33

(2) 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	96,000	1,400	2,100	1,400	2.35
今 回 発 表 予 想 (B)	87,000	200	200	△5,700	—
増 減 額 (B－A)	△9,000	△1,200	△1,900	△7,100	—
増 減 率 (%)	△9.4	△85.7	△90.5	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 27 年 12 月 期)	106,864	4,088	4,317	2,484	11.65

3. 修正の理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間

売上高については、原材料価格の低下に伴いカーボンブラックの販売価格が低下したこと等から前回予想を下回る見込みです。営業利益は、当初見込みより、カーボンブラック事業・黒鉛電極事業の収益性が改善したものの、一部取引先に対する債権回収懸念に伴い貸倒引当金等 8 億 3 百万円を費用計上したことや特定の研究開発目的により取得した資産 5 億 63 百万円を一括費用計上したこと等により、前回予想を下回る見込みです。経常利益も、営業利益の低下要因に加えて、第 2 四半期末に急激な円高の進行に伴い営業外費用に計上する為替差損が 7 億 24 百万円となったこと等により、前回予想を下回る見込みとなりました。また、「1. 特別損失 (減損損失) の計上」に記載しましたとおり、減損損失を合計で 64 億 87 百万円計上することにより、親会社株主に帰属する四半期純利益についても前回予想を下回る見込みとなりました。

(2) 通期

当第 2 四半期連結累計期間の業績の状況および黒鉛電極事業の構造不況継続によるさらなる売価下落を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について前回予想を修正いたします。

なお、「ファインカーボン事業の構造改革及び希望退職者の募集による経営合理化に関するお知らせ」でお知らせしました希望退職者の募集に伴う業績への影響については、現時点で未確定のため通期業績予想には織り込んでおりません。

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上